

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 西尾 寿博



令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日時	令和元年 7月3日(水) ~ 5日(金)	
2	研修地	全国市町村国際文化研修所	
3	研修内容	(内容)	(場所)
		(1) 2025年問題と社会保障政策	滋賀県 大津市唐崎
		(2) 介護保険と地域包括ケアシステム	
		(3) 地域医療の現状と課題	
(4) 認知症の基礎知識と社会参加による進行予防の可能性			
4	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(1) (5) 街全体で人々を看守るまちづくり</p> <p>今回2度目と泊3日の研修となりました。法令にたずさわつたから現場で患者・介護者の方と向き合っておられる方の講話を聞き、社会保障の厳しい将来、特に2040年からの支え手も少なくなった時の対応は非常に厳しいものになるだろうと思われれます。</p> <p>多くの不安材料がある中で介護については、国民健康保険と継続する事も難しいのに出来る可能性(国で)がある。</p> <p>したがって介護は在宅医療になり、保障制度については、国も補助はせず民間会社が受け負う事になるのではなからいか。</p> <p>(2) しかしこれについては相当費用がかかる。</p> <p>また、在宅介護についても家人に負担が重くなる</p> <p>どちらにしても厳しい状況になるのではなからいか指摘された。</p> <p>高齢になると何らかの型で認知症が発症します。</p> <p>在宅に看守様に住れば近所に医療施設がなければならなくなる。</p> <p>公共交通も町全体をカバーする事が難しくなる。</p> <p>ムダな施設も多くなる。</p> <p>したがって、コンパクトシティの設計は避けて通れな課題に存在する</p> <p>街全体で看守るまちづくりが急がれる。</p> <p>このように急速な人口減少は、さまざまな問題を含んでいます。</p> <p>この様なまちづくりを目指すのが真剣に取り組まなければなりません。</p>	

※3日間、池田議員と最前列のセンターで講話を受けさせていただきました。